

(募集期間終了)

中野市保育所整備計画(案)に関する意見の概要とそれに対する市の考え方

- (1)募集期間 令和3年6月 21 日(月)～7月9日(金)
- (2)意見提出者数 4名(個人)
- (3)意見数 4件
- (4)提出方法 電子メール(4件)

意見の概要	市の考え方
<p>≪意見1≫</p> <p>長丘保育園に子供を通わせています。人数の減少・保育園の運営による資金や老朽化により廃止されるのはしょうがないことなのかもしれませんが、納得がいきません。</p> <p>このコロナ禍で、感染対策のため密になってはいけないという理由で、少人数なのに関わらず行事がなくなったり子供の成長を見れる参観日が減り見に行ける人数も限られ親として悲しい思いをしています。今後長丘保育園が廃止になり、たかやしろ保育園やひらおか保育園に通わせる事になると思うんですが、人数が多くなる事によりさらに行事が減るのでは無いかと思っております。来年にはコロナは終息して普通の生活に戻るのであれば問題ないと思いますが、どうなのでしょう？</p> <p>中野市は少子化対策について考えているのでしょうか？長丘地区で子供が減少していることについてこのままでも良いと思っているのでしょうか？増やすためにはこの地域の保育園や小学校をなくしてはいけないと思います。</p>	<p>≪回答1≫</p> <p>■統廃合については、長丘、永田、豊井保育園の少人数化が著しく混合保育を行うなど、年齢に応じた適切な保育が難しい状況が続いており、子どもたちが多くの人と関わりながら育つことができる保育環境を整えるために行うものです。</p> <p>■行事については、保育所ごとの児童数の規模に応じて実施の可否を判断することはありませんが、コロナ禍が終息した際には、従来通りの行事を実施する予定であります。</p> <p>■保育園の統廃合により、保育所の数は少なくなります。保育士の適正配置により、市の受け入れ児童数の増加や、保育サービスの向上につなげることができます。また、子育て支援施設の整備や充実など、市全体の施策の中で少子化対策に取り組んでまいります。</p>
<p>≪意見2≫</p> <p>私は中野市保育所整備計画(案)に現状反対です。少子化や設備の老朽化に伴い統廃合が行われることや、その対象が長丘保育園、豊井保育園、永田保育園になること自体は妥当だとは思いますが、計画案の根拠に不明確な点が見られますので、今後さらに検討を進め、より中身のあるものにしていただきたいです。</p> <p>まず初めに、「共働き世帯の増加により保護者の</p>	<p>≪回答2≫</p> <p>■「共働き世帯の増加により保護者のニーズが多様化している」の表現は、中野市保育所あり方検討懇話会提言書の中で使われていますが、本整備計画案の中では使用していません。</p> <p>■長丘保育園の児童数の減少については、保育所の申込みに地域要件がなく、自由に保育所を選択できることから、自宅からの距離や通</p>

ニーズが多様化している」と言った表現の内容が盛り込まれていますが、保育園は実質共働きであることが入所の条件ですので、整備計画の根拠とはなりません。

次に長丘保育園の児童数の推移について、平成28年度の児童数41名に対して令和3年度は20名と約50%減少しています。市全体の児童数の推移は平成28年度の1,129名に対して令和3年度は964名で、減少率は約15%です。つまり長丘保育園の児童数の減少は少子化の影響ではなく行政の招いた結果であり、長丘保育園廃止の根拠とはなりません。

この計画案は、保育のサービスの向上を目指したのではなく、長丘、豊井、永田の統廃合を言う目的が前提にあり、その目的を正当化するために後から根拠を付けたものであるという見方ができます。

今後20年で中野市の子供の数は40%減少する予測がありますが、市としてこれを受け入れるのか抗うのか態度を決めなければなりません。右肩下がりのグラフをいかにL字あるいはV字にもって行くのか戦略を立てなければなりません。保育所は大切な資源であり、今ある箱をいかに満たすか考えるべきで、統廃合を進めると予測通りの人口減少を招きますし、地区によってはコミュニティーの存続が困難になります。20年後、30年後の中野市をどうデザインしていくのか軸をしっかりと持ってあらゆる政策を決めるべきで、子育てに関することはその一丁目一番地に来るはずで。

財政がひっ迫している状況は理解しますが、出血を止めるだけでは未来がありません。お金を集める方法はさまざまありますが、子供を増やす方法は限られます。ライオンの社会もアリの社会もあらゆる生き物の社会は子供を守るために存在します。人間だけが大人中心の社会を作り、子供に負担をかけています。中野市がここで舵取りを誤って大切な資源を失うことの無いよう、もう一度しっかりとした検討をお願いします。

勤路を考慮して、長丘保育園を選択する保護者が年々減少しているためであると考えられます。

■本計画案は保育所の適正規模・適正配置、合理的な保育サービスの提供や質の向上、安全、安心な施設整備を実現するため作成したものです。少人数化が著しい長丘、永田、豊井保育園は標準的な保育サービスの維持が困難であることから、整備方針として統廃合することとしました。

■今後の人口減少につきましては、市全体の課題として、保育所整備や子育て施策をはじめ、様々な施策の中で取り組む必要があると考えています。

《意見3》

先日、説明会に初めて参加させていただき、住民の保護者の皆さんが、今回の整備事業についてどのようなお考えなのか、意見交換会にて聞かせていただきました。

私家族、長野市街地から上今井の自然環境、少人数での保育のありがたさ、地域住民の温かさ、JR線等いろんな視野に感謝し、市街地から今年の4月に移住を決断いたしました。そんな中、整備計画をこの度初めて聞き、大変残念に思います。

豊井、上今井の地域の環境の良さ、地域に守られ、活きた保育や教育が充実していると感じ、ライフラインも踏まえ、移住を望んでくる方をどのように誘致していくかを行政はまったく考えていらっしやらないのではと感じてしまいました。

園児が減少傾向、人口の減少、財源の圧迫保育、教育の場の統廃合ではないと、強く感じます。少人数保育だからこそ、安心して預ける事ができ、地域に育った「子」が成長していくのだと思います。

三位一体となってしまったおかげで、財源に負担なるなら民間に委託させた保育維持？とは私自身、親からの目線、地域の目線になっていただけないと思います。

人口の減少、少子化には、中野市も一番守らなければならぬ財源なのではないでしょうか？もう少し、行政としても両園とも残しつつ、私自身が移住を決めたように、行政から何らかの配信できることがあるのではないのでしょうか地域の人口を増やせる事が出来るこの地域、田舎ならではの、魅力ある保育、教育があつてこそだと思います。

また、意見会でも述べておりましたが、未満児さんだけでも今までと同様に、両園を残していけないのでしょうか？

また、行事には両園の団体行事として、合同で開催したりなど地域に根付いた、公立施設運営を、なんとか守っていただきたいです。

民営化を反対している訳ではございませんが、少なからず保育の場が営利目的になり、子供たちが

《回答3》

■中野市を移住先にお選びいただき、ありがとうございます。

■永田、豊井保育園の統合については、少人数化が著しく混合保育を行うなど、年齢に応じた適切な保育が難しい状況が続いており、子どもたちが多くの人と関わりながら育つことができる保育環境を整えるために行うものです。

■未満児だけをお預かりする場合、新たに小規模保育事業所として認可を受ける必要がありますが、現時点で設置の考えはありません。

<p>守られない、適正な保育が受けられなくなるよう強く思うばかりです。</p>	
<p>《意見4》</p> <p>公設民営・民設民営で経営が成り立たなくなると、その地域から保育所がなくなり、人が来なくなり、小学校がなくなり、その地域が衰退する可能性が高くなる。日本の将来を支える子どもたちの保育・教育を責任もって保証するのは公的機関である。公設公営で保育の質を維持してもらいたい。</p>	<p>《回答4》</p> <p>保育所の民営化については、市全体の保育事業運営として標準的な保育を示せるように一定規模の公立保育所を維持しつつ、保護者の選択肢の拡充や保育サービス向上を目的に検討を進めてまいります。なお、民営化の基本方針や具体的な内容については、別途計画を策定する予定です。</p>